

東京学芸大学先端教育人材育成推進機構
外国人児童生徒教育ユニットシンポジウム2024
子どもたちの多様性が活かせることばの教育
2025年2月24日（月）10:00~12:00

高等学校の 日本語プログラム開発



愛知県立
御津あおば高等学校

五十嵐恵美

本資料の利用について
教育・研修を目的とした利用に限ります。資料としてご利用を希望する場合は、コンテンツの出典として「利用する資料等の作成者・執筆者」「利用する資料等が作成・公開された事業名」「コンテンツが示されているウェブサイトのURL」を明記して利用してください。部分的な切り取りや加工をして利用することは禁じます。

Ⅰ．日本語支援が必要な生徒数

言語	1 年		2 年		3 年	合計
	全日制	定時制	全日制	定時制	全日制	
ポルトガル語	1 3	7	1 8	3	3	4 4
タガログ語	1 2	2	9	2	3	2 8
スペイン語	4	1	5			1 0
ベンガル語	1			2		3
トルコ語			1		1	2
タイ語			1			1
インドネシア語			1			1
ベトナム語		1				1
中国語	1					1
全体数	3 1	1 1	3 5	2	7	9 1

※課程選択の目安として、日常会話の日本語に問題がない場合は全日制を、日常会話の日本語が難しい場合は定時制を勧めている。

2. 日本語指導を受けている生徒の日本語力

	N5未満	N5レベル	N4レベル	N3レベル	N2レベル	N1レベル	計
1年	1		20	6	10		37
2年		1		3	9	1	14
3年							
計	1	1	20	9	19	1	51

※課程（全日制、定時制）、滞日年数、来日年数、母語の力が様々な生徒が在籍している。

3. 外国人生徒教育支援体制

教務部で日本語指導や通訳・翻訳支援等を担当している。

- ・ 日本語指導コーディネーター：１名
- ・ 支援員
 - （１）外国人生徒教育支援員：９名
ポルトガル語３名、タガログ語３名、スペイン語１名、中国語２名
 - （２）日本語教育支援員：４名

合計で１１３時間／週の支援

4. R6年度入学生教育課程（昼間定時制）

1 年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1~2
日本語類型	現代の国語		歴史総合	数学Ⅰ		体育		保健		英語コミュⅠ		総合		LT		数学の日本語	歴史の日本語	日本語ⅠJ	日本語ⅠA	日本語ⅠB	生活ポルトガル語		音楽Ⅰ							通級	
※Ⅰ 太枠内はⅠ，Ⅱ限授業。定時制生徒も全日制授業を履修することができる。																					生活スペイン語										
																					生活タガログ語										
																					基礎英語F	基礎数学F，発展数学									

※ I 太枠内は I, 2 限授業。定時制生徒も全日制授業を履修することができる。

4. R6年度入学生教育課程（日本語指導科目）

年次	課程	科目名				備考
1年次	全日制	日本語ⅠA(2)	日本語ⅠB(2)		日本語タイム(1)	※2 取り出し授業として7科目、16単位を履修可
	定時制	※1	※1	日本語ⅠJ(2)	日本語タイム(1)	取り出し授業なし
2年次	全日制	日本語ⅡA(2)	日本語ⅡB(2)		日本語タイム(1)	
	定時制	※1	※1	日本語ⅡJ(3)	日本語タイム(1)	
3年次	全日制	日本語ⅢA(2)	日本語ⅢB(2)		日本語タイム(1)	
	定時制	※1	※1	日本語ⅢJ(2)	日本語タイム(1)	
4年次	全日制					
	定時制				日本語タイム(1)	

※1 定時制生徒も全日制授業を履修することができる。

※2 2年次以降の取り出し授業の開講は未定。

5. 特別の教育課程での日本語指導（R6年度）

【1年次】

科目名	単位数	課程	内容
日本語 I J	2	定時制	学校生活の場面に文型を入れた「場面シラバス」での学習。
日本語 I A	2	全日制	日本語を聴く、読むを中心にした学習。
日本語 I B	2	全日制	SDG s の概念を学び、そこから課題を抽出して、自身の考えをまとめて発表をする「課題解決型」学習。
日本語タイム	1	定時制 全日制	日本語能力試験対策の学習と発表活動。

5. 特別の教育課程での日本語指導

【2年次】

科目名	単位数	課程	内容
日本語ⅡJ	3	定時制	日本語文型を学びながら、様々な教科の内容を連動させた学習。
日本語ⅡA	2	全日制	日本語を聴く、読むを中心にした学習。
日本語ⅡB	2	全日制	自分の考えをまとめ、他者の発表を聴き、自身の考えを深める「課題解決型」学習。
日本語タイム	1	定時制 全日制	日本語能力試験定対策の学習と発表活動。

【個別の指導計画】

- ・入学後に生徒一人ひとりにヒアリングをして作成。
- ・各教科担当が１学期ごとに計画と評価を記入。
- ・R5年度より実施。「個別の指導計画」を作成することで
生徒個人の１年間の学習計画と評価を記録として残すことができる。
- ・たくさんの教員が指導、計画、評価することで、生徒に対してより多面的な指導ができる。

1	2	3	4	氏名		性別
組 番	組 番	組 番	組 番			男
生年月日				出身中学等		
住所				連絡先		
国籍	ブラジル		在留資格			
家族構成	続柄	氏名		国籍	本人との言語	日本語理解の状況等
	父				ポルトガル語 日本語	日本語で会話は可能
	母				ポルトガル語	日本語での会話は難しい
	弟				ポルトガル語	日本語での会話は難しい
	妹				ポルトガル語	日本語での会話は難しい
学校生活に関する希望	本人	全日制へ移動したい(7月時点)				
	保護者					
卒業後の進路に関する希望	本人	海外の大学へ留学希望。				
	保護者					
生育歴						
年齢	学年	居住地	就学状況(学校名等)		特記事項 (異動歴、日本語支援の有無等)	
0～5		ブラジル サンパウロ	保育園			
6		ブラジル・サンパウロ				
7	小1	ブラジル・サンパウロ			日本に来日。	
8	小2	ブラジル・サンパウロ			ブラジルに帰国。	
9	小3	ブラジル・サンパウロ				
10	小4	ブラジル・サンパウロ				
11	小5	ブラジル・サンパウロ				
12	小6	ブラジル・サンパウロ				
13	中1	ブラジル・サンパウロ				
14	中2	ブラジル・サンパウロ			2月末日、初期支援校「みらい」編入。	
15	中3	ブラジル・米子				
16	高1	米子				
17	高2					
18	高3					
19	高4					
20						
		1年	2年	3年	4年	
学級担任 作成者		五十嵐 恵美				

令和5年度

学年	組	番号	氏名	作成年月日	最終更新年月日
		1		2023.6.2	

日本語の能力	話す	さまざまなトピックの会話に積極的に参加することができる。
	読む	片仮名や小学校1、2年の学習漢字が混じった文を読んで大意を理解することができる。
	書く	興味のある課題に対して、日常語彙を使って作文を書くことができる。
	聴く	教科学習の内容に関心を持ち、集中して聴くことができる。

授業名	日本語1J	指導者	五十嵐恵美	指導時数	70	単位数	2
指導目標	日本の学校生活や社会生活において、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。						
	指 導 計 画		学 習 状 況 の 評 価			出席時数	
1学期	①学校生活に必要な文型を身につける。 ②学校の行事など経験した事柄について、順序に沿って簡単な構成の文章を書く。 ③小学2年生までの漢字を書けるようにする。		①母語ややさしい日本語の支援を受けながら、「中学生のにほんご学校生活編」を使い、学校生活に必要な語彙および文型の学習を図った。文型や語彙の間違いはあるが、学校生活に困らない日本語力を身につけることができた。 ③毎回の授業や宿題に真面目に取り組むことで、小学2年生までの漢字を8割程度習得できた。			15	
2学期	①学校生活に必要な文型を身につける。 ②学校の行事など体験した事柄について、文法に注意しながらまとまった構成の文章を書く。 ③小学3年生までの漢字を書けるようにする。						
3学期							
評価						修得 単位数	合計の 出席時数

授業名	日本語1A	指導者	五十嵐恵美	指導時数	70	単位数	2
指導目標	①SDGSについて基礎知識を学び、問題解決のための自分ができる行動(アクションプラン)を考える。 ②日本語の話す、聴く力を伸ばす。						
	指 導 計 画		学 習 状 況 の 評 価			出席時数	
1学期	①やさしい日本語と英語を使って、SDGSの基本知識を得る。 ②問題解決の方法について、自分の意見を話し、他者の意見を聴いたうえで、新たな解決方法を提案する。(話す・聴く)		①わからないことを積極的に質問することで、SDGSへの理解を深めることができた。 ②自分の意見を積極的に話すことで、グループの意見を上手くまとめることができた。			18	
2学期	①あるテーマについて、自分の考えを持ち、他者との意見交換をして、自分の考えを深める。						
3学期							
評価					修得 単位数	合計の 出席時数	

授業名	日本語1B	指導者	五十嵐恵美	指導時数	70	単位数	2
指導目標	①SDGSについて基礎知識を学び、問題解決のための自分ができる行動(アクションプラン)を考える。 ②日本語の読む、書く力を伸ばす。						
	指 導 計 画		学 習 状 況 の 評 価			出席時数	
1学期	①やさしい日本語と英語を使って、SDGSの基本知識を得る。 ②問題解決の方法について、自分の意見を書き、他者の意見を聴んだうえで、新たな解決方法を提案する。(読む・書く)		①②わからないことを調べたり質問することで、独自りの「問題解決方法」を提案することができた。また真剣に取り組むことで、グループ活動では良い効果をもたらした。			20	
2学期	①あるテーマについて、自分の考えを持ち、他者との意見交換をして、自分の考えを深める。						
3学期							
評価					修得 単位数	合計の 出席時数	

授業名	日本語タイム	指導者	五十嵐恵美	指導時数	35	単位数	1
指導目標	①日本語能力試験N3合格、②英語と日本語を使い、ブラジルの知識を深める。						
	指 導 計 画		学 習 状 況 の 評 価			出席時数	
1学期	①日本語能力試験N3の語彙、文型、読解力を身につける。 ②ブラジルの歴史、習慣、文化、宗教などを調べてまとめる。		③「TRY！日本語能力試験N3文型から伸ばす日本語」を使いながら、N3の学習に積極的に取り組んだ。N3の合格の意欲をもつことができた。 ④英語文脈を受けながら、ブラジルの紹介ポスターを作成することができた。			10	
2学期	①日本語能力試験N3の語彙、文型、読解力を身につける。 ②自分の将来のことや興味を持っていることに対して、文法に気を付けながら400字程度で作文する。						
3学期							
評価					修得 単位数	合計の 出席時数	

授業名	数学の日本語F	指導者		指導時数	35	単位数	1
指導目標	①数学の基礎知識の習得 ②身近な数学の日本語への理解を深める						
	指 導 計 画		学 習 状 況 の 評 価			出席時数	
1学期						11	
2学期							
3学期							
評価					修得 単位数	合計の 出席時数	

授業名	数学の日本語T	指導者		指導時数	35	単位数	1
指導目標	①数学の基礎知識の習得 ②数学の基礎知識を応用する日本語の習得						
	指 導 計 画		学 習 状 況 の 評 価			出席時数	
1学期						9	
2学期							
3学期							
評価					修得 単位数	合計の 出席時数	

授業名	英語の日本語	指導者		指導時数	35	単位数	1
指導目標	①英語の基礎知識の習得 ②身近な英語を学び、理解を深める						
	指 導 計 画		学 習 状 況 の 評 価			出席時数	
1学期						11	
2学期							
3学期							
評価					修得 単位数	合計の 出席時数	

授業名	歴史の日本語	指導者		指導時数	35	単位数	1
指導目標	自分のルーツの国や日本について、このことを調べてまとめたものを発表し、自分のルーツの国や日本についての理解を深める。						
	指 導 計 画			学 習 状 況 の 評 価			出席時数
1学期							8
2学期							
3学期							
評価						修得単位数	合計の出席時数

授業名		指導者		指導時数		単位数	
指導目標							
	指 導 計 画		学 習 状 況 の 評 価			出席時数	
1学期							
2学期							
3学期							
評価						修得 単位数	合計の 出席時数

授業名		指導者		指導時数		単位数	
指導目標							
	指 導 計 画		学 習 状 況 の 評 価			出席時数	
1学期							
2学期							
3学期							
評価						修得 単位数	合計の 出席時数

8科目の授業を5人の教員が計画、評価しており、生徒の力を多面的に評価している。

「修得単位数は21単位を超えない範囲で、卒業までに修得させる単位数（74単位）に含めることができる」

「目標から見て満足できると認められる場合、単位を修得したことを認定できる」
 など、単位修得の重要点を押さえやすい。

『高等学校における外国人生徒等の受け入れの手引』p14～15

6. 実際の授業カリキュラム 日本語 I B

目標：日本語で得た情報をもとに、社会を批判的に読み解き、自身との関わりから理解を深め、その問題解決のために日本語で働きかけ、社会に変化を促す行動ができるようになる。

単元	単元名	学習内容	活動	配当時間
1	・プレイスメントテスト	①日本語レベルの把握		2
2	・SDGs 概論	・既存知識の確認。 ・SDGS概念の説明。		2
3	・貧困をなくそう	①飢餓の現状とその原因を知る。 ②身の回りにある貧困を調べる。	動画視聴 調べ学習	6
4	・飢餓をゼロに	①飢餓の現状とその原因を知る。 ②日本やルーツ国の飢餓について調べる。	動画視聴 調べ学習	6
5	・ジェンダー格差をなくそう	①世界のジェンダー格差について知り、その原因を考える。 ②ジェンダー格差について調べて発表する。	動画視聴 発表原稿作成	6
6	・エネルギーをみんなに	①エネルギーの偏りによる不平等性を知り、公正な視野を持つ。 ②クリーンエネルギーについて調べて発表する。	動画視聴 発表原稿作成 他者評価	6

6. 実際の授業カリキュラム 日本語 I B

単元	単元名	学習内容	活動	配当時間
7	・住み続けられる街づくりを	①街作りについて知り、よい街とは何かを考える。 ②今住む街について、改善点を提案する。	動画視聴 発表原稿作成 他者評価	6
8	・働きがいも経済成長も	①身近な人に「仕事についてのインタビュー」をすることで、たくさんの職種を知る。 ②自分の仕事についていくつかの選択肢を持つ。	動画視聴 発表原稿作成 他者評価	6
9	・質の高い教育をみんなに	①質の高い教育とは何かを考える。 ②御津あおば高校で質の高い教育を受けるにはどうしたらよいかを発表する。	動画視聴 発表原稿作成 他者評価	6
10	・人や国の不平等をなくそう	①世界人権宣言を読み、平等とは何かを考える。 ②身の回りの不平等を見つけ、改善策を発表する。	動画視聴 発表原稿作成 他者評価	6
11	・産業と技術革新の基礎をみんなに	①産業、技術革新とは何かを知る。 ②新しい技術革新を考えて発表する。	動画視聴 発表原稿作成 他者評価	6
12	・海の豊かさ、陸の豊かさを守ろう	①海洋汚染や森林破壊の原因について考える。 ②学校でできる環境保護を考えて発表する。	動画視聴 発表原稿作成 他者評価	6

6. 実際の授業カリキュラム 日本語 I B

単元	単元名	学習内容	活動	配当時間
13	・ 平和と公正をすべての人に	①平和と公正でない具体例とその原因を知る。 ②自分が考える「平和と公正な社会」について発表する。		6

7. 実際の授業内容（1 単元分） 日本語 I B

学習の流れ

①語彙の導入

②トピックについて考えさせる
質問をする。

③自分の考えを書く。（紙、PPT）

④全員の前で発表する。

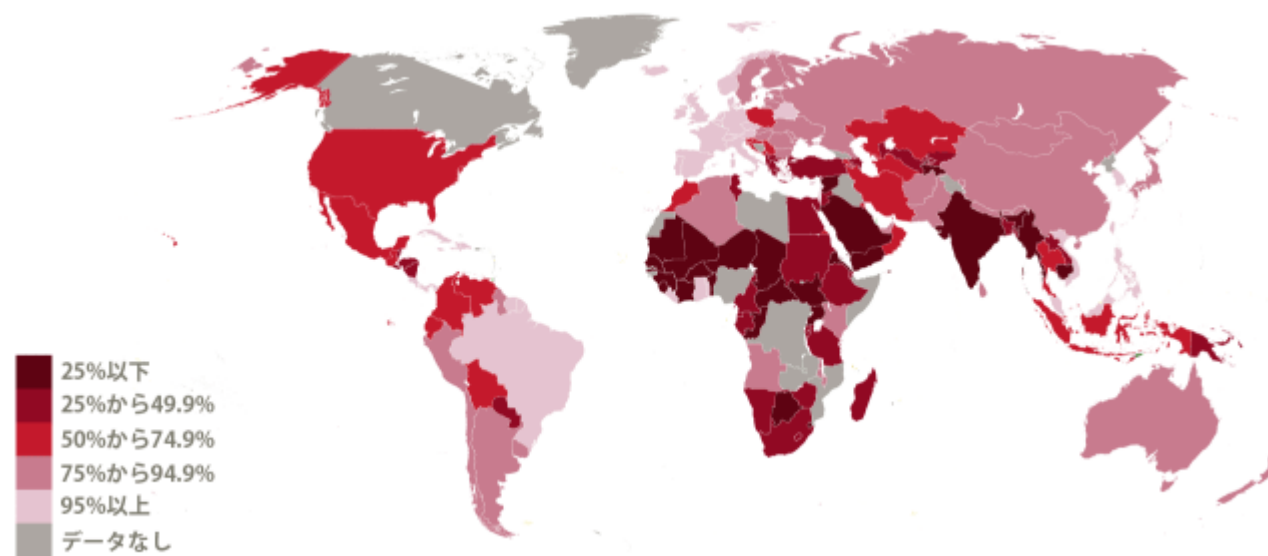
⑤発表者の評価をする。



ターゲット 2

2030年までに、**すべての子どもが**、ようちえん幼稚園やほいくえん保育園に
かよ通い、しょうがっこう小学校の準備ができるようにする。
じゅんぴ

引用：4.質の高い教育をみんなに|SDGsクラブ
|日本ユニセフ協会（ユニセフ日本委員会）



どうして 学校へ いけないのか

1. おんな こ 女の子は がっこう い 学校へ行くな といわれる。
2. かぞく 家族のために はたら 働かなければいけない。
3. がっこう 学校がない。こわ 壊された。

にほん

日本の

きょういく

教育の

もんだい

ほいくえん

1. 保育園、

ようちえん

幼稚園に

こ

いけない子がいる。

せんせい

2. 先生が

いそが

忙しすぎる。

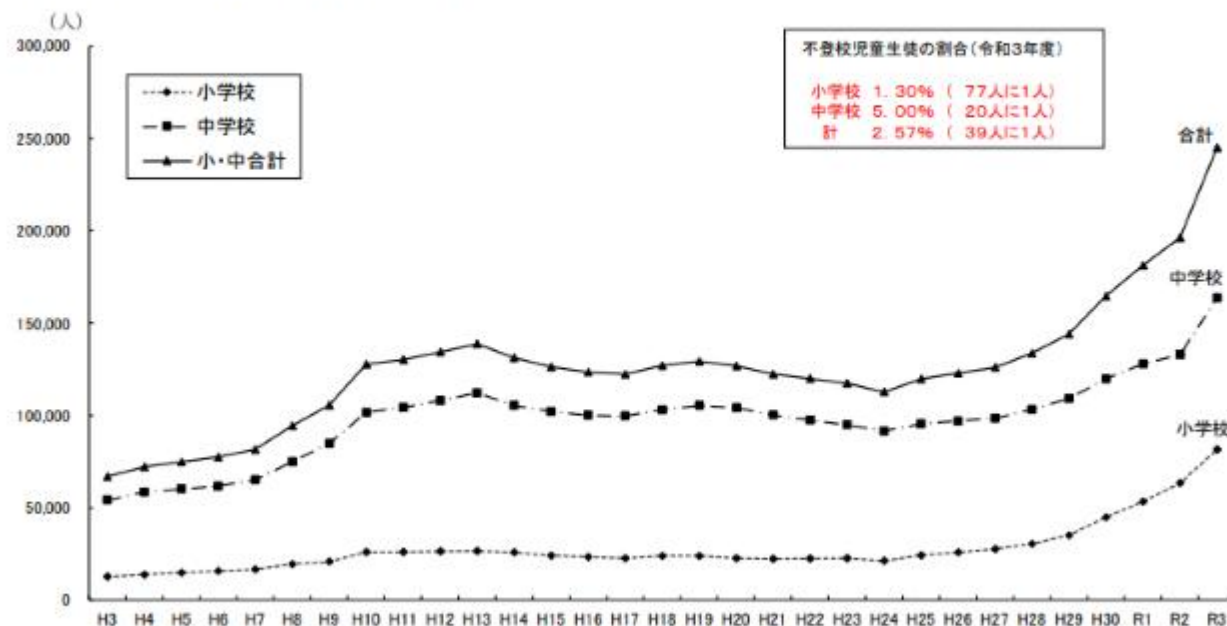
3. いじめが ある。

にほん きょういく 日本の 教育の もんだい

ふとうこうせいと 4. 不登校生徒 が多い。

引用：4. 質の高い教育をみんなに | SDGsクラブ
| 日本ユニセフ協会（ユニセフ日本委員会）

<参考2> 不登校児童生徒数の推移のグラフ



はっぴょう

発表すること

▼御津あおば高校で「質の高い教育」を受けるには
どうしたらいいか。

(1) 生徒はどうしたらいいか。

(2) 先生はどうしたらいいか。

8. 時間割外の日本語指導

(1) 日本語タイム

時間割外の日本語指導。(単位あり)

各レベルに合わせて、日本語能力試験の学習

(2) 日本語スピーチコンテストの出場

市、県、東三河主催のスピーチコンテストに出場するために練習を行う。